

# 夏休みの子ども向けオープンスペースの開催について

富澤まり・小林孝次

## はじめに

令和4年7月23日(土)から8月16日(火)まで展示資料館1階展示室にて、「夏休みの子ども向けオープンスペース」と題し、展示会を実施した。

これは、サマーフェア期間中(7月16日(土)から8月31日(水))の来園者サービスの一環として展示を行ったもので、主に幼児から小学校低学年をターゲットにしたものである。

## 展示概要

今回の展示では、植物を使った遊びや楽しみ方を紹介するだけでなく、夏休みの自由研究や科学賞の応募に役立つ内容を展示するとともに、広島市こども図書館(以下、こども図書館)より植物に関する絵本の貸し出しを受け、調べ学習にも役立つ内容とした。また、展示室内には机や椅子を通常より多めに用意し、夏休み期間中のサマーフェアで実施されている水遊びの合間や夏の日差しを避けて休憩するための場所としても提供できるように配慮した。

さらに、関係機関の協力として、広島市科学賞受賞作品の展示を広島市教育研究会理科部会の協力を得て行い、植物に関する絵本の読み聞かせをこども図書館の協力で行なった。



写真1 会場の様子

過去(平成13年度)に「夏休みの自由研究のヒント展」を実施したときには、夏休みの期間中に自由研究のヒントとなるようなパネルや過去の広島市科学賞受賞作品(以下、受賞作品)

をメインに展示を行ったが、このたびは植物に関する受賞作品の展示に止めた。受賞作品の最近の傾向として、植物を活用した研究はトマトをテーマにしたものが多く、他に桜がある程度で、全体から見ると植物をテーマにする自由研究は非常に少なく展示するにも偏りが見られた。

また関連図書として、こども図書館から植物を扱った本50冊を図書館司書の厳選により貸し出しを受け、実施期間中に、展示室内で自由に閲覧できるように設置した。大型絵本など、親子で楽しめる本も数冊含まれており、展示室内で幼児を膝に乗せて読み聞かせができるコーナーも設けた。

さらに、こども図書館より職員の派遣を受け、7月28日、8月2日の2日、1日2回、子ども向けの絵本の読み聞かせを行った。会場は真夏の日中でも涼しいベゴニア温室とし、温室内中央の「やすらぎ広場」にシートを



写真2 絵本の読み聞かせ

敷き、グループ毎の間隔が取れるように配慮して実施した。サマーフェアの水遊びと重複しない時間帯に読み聞かせを設定をしたため、13時からと15時からの2回の実施となった。13時からの会は非常に人気があったが、15時からの会は遊び疲れて帰途につく家族連れが多く、参加人数は少なめであった。

## 今後の対策

反省点としては、展示タイトルを「子ども向け」としたためか、年配の方が展示室に入室することを遠慮されることが見受けられたことである。

良かった点は、児童が展示室内の図書や科学賞受賞作品を参考に、自由研究に取り組んでいる様子がうかがわれた点である。また、読み聞かせコーナーで幼児が絵本を見ていることもあった。来場者が上手に活用してくれており、主催者としては喜ばしいことであった。

今後は、全世代が活用できるように配慮するとともに、展示内容の充実を図り、新型コロナウイルスによる感染拡大の状況を見極めながら体験型やハンズオンのプログラムも検討していきたい。